

<報道関係各位>

2009年12月24日

シーグラフアジア 2009 実行委員会

## 【シーグラフアジア 2009】

### 終了のご報告

－ 世界 50 カ国から6,500人の登録来場者が横浜で最新のコンピュータグラフィックスとインタラクティブ技術を体験 －

12月16日(水)より4日間、パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)にて開催しておりました、コンピュータグラフィックスとインタラクティブ技術を中心としたデジタルメディア、デジタルコンテンツ分野を代表する国際カンファレンス&展示会『シーグラフアジア 2009(SIGGRAPH Asia 2009)』は19日に無事閉幕いたしました。世界50の国と地域から、500人以上のアーティスト、学者、業界エキスパートがカンファレンスで講演やプレゼンテーションなどを行い、カンファレンスと展示会をあわせて、登録来場者数が約6,500人となりました。

シーグラフアジア 2009 実行委員会会長の稲蔭正彦慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授は次のように述べています。「シーグラフアジアは今回日本で始めて開催されました。2008年のシンガポール開催に続いて成功できたのはすばらしいことです。おかげさまで業界関係者だけではなく、デジタルメディアとコンテンツに興味を持つすべての人に期待されるイベントに発展してきています。また今年の発表と展示の内容が非常にレベルが高く、見る人聞く人に大きな感動を与えたと思います。」

シーグラフアジア 2009 のカンファレンスには、アニメーション、CG、デジタルメディア制作、ロボティクス、インタラクティブ技術など各分野のエキスパートが集まりました。基調講演、ワークショップとパネルディスカッションを含む200以上のセッションは、産学のトップタレントとデジタル愛好家や将来を担う若者などを結ぶ場でもありました。

毎年恒例のコンピュータアニメーションフェスティバルの最優秀賞と最優秀技術賞は、業界エキスパートで構成されるパネルにより選ばれ、12月17日授賞式を行いました。最優秀賞には Lindsey Olivares 監督(Ringling College of Art and Design、米国フロリダ州)の『Anchored』、最優秀技術賞には Istvan Zorkoczy (Digic Pictures)制作の『Assassin's Creed 2』が、それぞれ選ばれました。今回のコンピュータアニメーションフェスティバルでは、合計で16カ国より79本ものコンピュータグラフィックス作品が上映され、観客を魅了しました。

日本で初めて開催されるシーグラフアジアにふさわしく、日本のゲーム業界などから有力企業も多くのコンテンツが披露されました。またシーグラフアジアで初めて設けられたロボティクスの展示は、大変な人気を呼び、また、ソニー、NEC、日本ビクターなど日本から業界をリードする企業も立体ディスプレイなど、さまざまな業務用・家庭用ディスプレイの技術を展示しました。

毎年待望のエマージングテクノロジーのパビリオンにも日本の才能が目立ちました。立命館大学の研究チームによる『Kaidan: Japanese Horror Experience in Interactive Mixed Reality』、五十嵐健夫(東京大学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻)と緒方壽人(リーディング・エッジ・デザイン)のコラボレーションによる「another shadow」、早稲田大学のヒューマノイド・ロボット「SCHEMA」などの展示が、まさしく日本が誇る技術としての注目を集めていました。

次回のSIGGRAPH Asia 2010の開催地は韓国のソウル市で、カンファレンスが2010年12月15日から18日まで、展示会が12月16日から18日までそれぞれ開催されます。



#### ■SIGGRAPHについて

SIGGRAPH (Special Interest Group on Computer Graphics) は、アメリカコンピューティング協会 (ACM; The Association for Computing Machinery) におけるコンピュータ・グラフィックス (CG) を扱う分科会「ACM SIGGRAPH」が主催するコンピュータグラフィックスとインタラクティブ技術の国際会議・展示会の通称です。1974年に第1回会議が開催され、以後、毎年夏にアメリカ国内で開催されています。世界中から最新のコンピュータグラフィックス関連の演題の論文が発表されるほか、講堂にて上映される、コンピュータアニメーションフェスティバルや、アートギャラリーとエマージングテクノロジーの展示、CG関連企業の最新機器の展示会が同時開催され、世界中から2万~3万人の業界関係者が参加する「世界最大かつ最高峰のCGの祭典」です。

#### ■SIGGRAPH Asiaについて

近年アジアのデジタルメディア市場は急成長を遂げました。過去数年で、アメリカSIGGRAPHへのアジアからの論文投稿数は倍以上となりました。そのような背景のもと、2006年に初めてSIGGRAPHをアジアでの開催が協議され、厳密な市場調査後、2007年2月にSIGGRAPH Asiaを発足することが委員会にて承認されました。2007年サンディエゴのSIGGRAPHにおける正式発表後、初年度2008年はシンガポールで開催され、今年2009年は日本にSIGGRAPHが初登場しました。来年はソウルでの開催を予定しています。

#### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

アップストリームアジア・ジャパン (広報代理店)

担当: ダニエル・オブライエン / 今井ゆか

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-13-16 町田ビル 3F

Tel: 03-6826-8855 Fax: 03-3504-9911 e-mail: [dan@upstreamasia.com](mailto:dan@upstreamasia.com)